

仙台正教会  
教会だより

2024年  
12月号

〒980-0021 仙台市青葉区中央三丁目四一二〇  
TEL 022-251-2744  
FAX 022-241-3080  
http://www.sendai-orthodox.jp  
orthodox@hyper.ocn.ne.jp

ハリストス我が神や、

爾の降誕は世界に知恵の光を照らせし

これによって星につとむる者は、星に教えられて、

爾、義の日を拝み、爾、上よりの東を悟れり

【降誕祭の奉事】

- 12月22日(日) 10:00  
降誕祭前の主日聖体礼儀  
祈祷後 Xmas祝賀会
- 12月24日(火) 18:00  
主の降誕祭徹夜祷
- 12月25日(水) 9:00  
主の降誕祭聖体礼儀

【年末年始日程】

- 1月 1日(水)
- 【12月31日深夜】 午前 0:00  
新年感謝祈祷
- 午前11:00  
新年感謝祈祷



蓋、暗より光の照ることを命ぜし神は、我等の心を照せり、  
 イイス・ハリストスの面おもてにある神の光栄を知る  
 知識を以て我等を輝さん為なり。 — コリフ後書4章6節 —



主の降誕祭のテーマソングとも言えるトロパリの中で私たちは次のように歌う。

「ハリストス、我が神や、  
 爾の降誕は世界に知恵の光を照らせり」

この中の「知恵の光」とは何だろう。

ここで「知恵」と訳されたギリシャ語は「グノーセオス」で、普通は「知識」と訳される。

「グノーセオス」は、「ソフィア」(「知恵」と訳される)とペアでしばしば使用される。

「知恵と知識の一切の宝はハリストスの中に隠るなり」(コロサイ2:3)

「ソフィア」は深い意味を持つ言葉だが、「グノーセオス」も、単に情報として知る知識という意味だけでなく、直観的に知る、心から理解する、悟るという意味も持つ。

また、トロパリの中の「照らせり」は「アネーティレ」といい、単に光るという意味ではなく、朝日が「昇る」という意味を持つ。

ハリストスの降誕は、真実の神を知る知識をもたらした。すなわち、星を拝んでいた博士達は、真の神を拝む者となり、ハリストスが誰であるかを悟った。

ハリストスは「義の日(太陽)」であり、「上よりの東(朝日)」が昇って(実際には天より降って)来て、私たちに照らすお方である。

このように、「知恵(グノーセオス)」は、「光(フォス)」というイメージを伴う。

旧約の預言者ホセア書にも次のような聖句がある(ただし70人訳ギリシャ語聖書)。

「知恵の光(フォス・グノーセオス)を自分のために灯し、義の実りがあなたがたに下るまで、主を求めなさい。」(10:12私訳)

ハリストスの降誕による「知恵の光」は、確かに世界の上に昇ったが、しかし、私自身が心を閉ざしては、その光は私の心には入ってこない。肝心なのは、私の心に光が届いているかどうか。

聖使徒パウエルは、創世記における神の光の創造に言及して、「暗より光の照ることを命ぜし神は、我等の心を照せり」と教えた。そして、その光とは、「神の光栄を知る知識」であるといい、それはハリストスの面(顔)にある、と言っている。

ハリストスの顔の光については、第一時課の最後で司祭が祈る次のような祈祷文が思い起こされる。

「真の光なるハリストス、凡そ世に来る人を照し且つ聖にする者や、願わくは爾が顔の光は我等に輝き、我等は是に依りて近づき難き光を見るを得ん」

「ハリストス我が神」の「顔の光」は、心の中にハリストスが降誕することによって輝く。「知恵の光」が自分の心をも照らして下さるよう祈るために、降誕祭に参拝しよう。(D)

# 仙台正教会一五〇周年祭に参加して

ニコライ本多弘明

去る10月27日(日)の聖体礼儀後に、仙台正教会がこのたび開教百五十年を迎えたことを祝い、その歴史を振り返りながら、先人たちのご尽力の足跡を偲ぶ催しが行われました。

約2年の準備期間があったとはいうものの、このように素晴らしい会になるとは、正直想像しておりませんでした。

会食後に行われたこの日のメインイベントは、水口神父様による仙台正教会百五十年を画像で振り返るスライドショーでした。

当初、思うように資料が集まらず苦慮しましたが、神父様が自ら市内の図書館、歴史民俗資料館などに足を運ば

れ、多くの資料や事実を発掘されたことをきっかけとして、これまで埋もれていた新たな歴史、画像を数多く明らかにすることが出来ました。

また会場には、神父様がご収集された写真とともに、信徒の皆様からご提供された貴重な写真も、婦人会、方舟会のご協力のもと、三十数点のパネルにして展示されました。

ご承知のように、現在の仙台正教会の聖堂は3代目のものになります。神父様のご意向で、展示やスライドショーの時代区分を、単なる年号順などではなく、個性ある3代の聖堂それぞれ時代に分けて展示、映写、解説することとしたため、皆様のご先祖の方たちも多数関わられた苦難に満ちた

教会の歩みが、より一層私たちにも身近な出来事として感じられるものとなったように思います。

▶ 正教徒となった仙台藩士が描かれた掛軸（ハリサンブ大立目兄献納）



画像以外の現物資料などは当日限定での展示でしたが、大立目兄ご提供の貴重な掛軸や古い聖歌譜・書籍など、どれも一見の価値ある史料でした。

なお、パネル展示に関しては、降誕祭頃まで会館4階で観覧出来るそうですので、当日ご参加されなかった方にも是非ご覧いただければと思います。

今回の催しにご協力くださった多くの皆様への感謝とともに、次の記念祭も実り豊かな仙台正教会でありますようお祈り申し上げつつ、感想とさせていただきます。

## お知らせ

150周年記念写真パネル展は会館4階にて継続展示しています(若干追加あり)。ぜひ参拝の折に御覧下さい。

150周年記念品であるクオカードはまだ在庫がございます。1500円位の献金で頒布いたします。ご希望の方は教会までご連絡下さい。



## 信徒懇親会に参加して



アンドレイ高橋聡樹

11月4日(月)、5日(火)の2日間、石巻正教会の担当で東北ブロックの信徒懇親会が北上町の追分温泉で開催されました。

追分温泉は北上川河口から登米市へ抜ける峠にある木造の一軒宿です。外観も館内も趣があり、数寄者な主人の人物が惚ばれます。

温泉は痺れるくらいに熱く、つかると全身が覚醒し始めます。湯上りは身体の代謝が



▲ 大広間での懇親会が始まる前



▲ 仙台管轄教会からの参加者の紹介



▲ 二日目の解散前に明治村で記念写真

上がったように感じます。

仙台教会からは4名が1台の車で向かいます。移動中、聖歌や教会のお話を聞かせていただき、昏時に宿へ着くことが出来ました。私は1年前から教会へ通い始め、1週間前に洗礼を受けた身です。当然、殆どの方と初顔合わせとなるわけですが、全ての方々が温かく迎えてくださいました。

受付後は割当の部屋に入り、畳敷きの大部屋で車座となり懇親会の前から教会史を中心に話が盛り上がります。

他教会の方々から話を聞く機会は滅多に

ないことですので初めて聞く話が多く、興味が尽きることはありませんでした。

場所をステージのある畳の大広間へ移し、懇親会が始まります。お膳には、石巻の海の幸を中心に「これだけ美味しいものがあれば他には何も要りません」と言うほどの料理が並びます。

ステージ上で各教会の近況報告や参加者の紹介が行われるのですが、石巻教会は普段の仕事着姿でラジオ体操の曲と動きに合わせて自己紹介を行うというユーモアのある、見事なパフォーマンスを披露されました。

ビンゴゲーム大会も地元食材の豪華景品に参加者の皆様全員が大いに沸き返り、大いに懇親を深めました。

二日目は登米(こよま)町の明治村をガイド付きで見学し、旧県庁庁舎、旧警察署、資料館、旧小学校等を巡り、明治維新の変革期に思いを馳せました。

昼食に物産センターで登米の郷土料理「はつと」を美味しくいただいた後、常に福にして「声を合わせて歌い、解散となりました。末筆ではございますが、お会いできた皆様にご心からの感謝と御礼を申し上げます。

# 白河正教会だより



11月2日(土)から4日(月)にかけて水口神父が白河正教会を巡回し、奉神礼と講演会を行った。文化庁による「文化財保護強調週間」の一環として、白河生神女進堂聖堂が一般公開され、信徒の奉仕により見学に訪れる人々に応じた。雨天ということもあり昨年と比べると少ない訪問者数ではあったが、白河正教会の魅力を今年も一般の方々に伝えることができた。



講演会は4日(月)・㊦の午後1時半から始まり、「山下りんとヨバケ画」というテーマで、水口神父より山下りんのイコンについてお話があった。「ヨバケ画」とは、ビザンチンで定着した伝統のあるイコンの書き方が、西洋画を学ぼうとした山下りんにとって、現実離れた絵画に見えたことを表す言葉で、彼女の日記の中に出て来る。しかし天国の窓とも呼ばれるイコンは、この世を超えた世界を私たちに垣間見せる役割があるという意味にも聞こえてくる。そうした目で山下りんのイコンを見ると、肉眼で見た世界が描かれていると同時に「属神の世界」が展開されていることに気づくという内容であった。

# 中新田正教会だより



11月22日(金)、23日(土)にかけて、水口神父が中新田正教会を巡回した。聖体礼儀に続けて(月例パニヒダの前に)中新田正教会では初めての「子供感謝祭(七五三モレーベン)」が執り行われた。7人の子供たちが集まり、祈祷後には、お菓子がたくさん詰められた手作りの「千歳(いくとせも)袋」がプレゼントされた。



11月10日(日)の代式祈祷の後には、ラップを使って簡単に作れる糖飯作りの講習会も行われた。

なお境内地の植木の剪定が職人の手によって行われ、美しい景観となった。



▲ 出来上がった糖飯

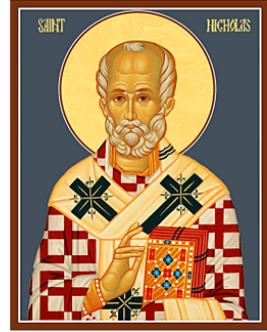


## 12月聖名日 モレーベンのご案内 12月15日(日)聖体礼儀後

12月の聖名日モレーベンに該当する方々の一覧です。是非ご参拝下さい。



▲聖使徒アンドレイ



▲奇跡者聖ニコライ

聖名日	聖名	氏名(敬称略)
12月7日	エカテリナ (アレクサンドリヤの聖致命女)	高橋めぐみ、山田恵津子、本間まどか
12月7日	アウグスタ (アレクサンドリヤの聖致命女)	後藤やすゑ
12月13日	聖使徒アンドレイ	遠藤 守、小野崇耶、高橋聡樹
12月19日	ニコライ (ミラ・リキヤの大主教奇蹟者)	大窪 仁、佐藤信一、菅原克明、 高橋文彦、道家憲雄、本多弘明、 山田喜美雄、山村英作
12月21日	アンフーサ(聖致命女)	山崎治子、山寺しちよ
12月26日	ルキヤ(聖致命処女)	佐藤宏美
12月30日	アザリヤ(聖三童子)	清水 燈
聖列祖の主日	聖列祖イサク	本多由幸、山村一作

・永眠  
十一月七日  
グリゴリー大場宏 兄(80歳)  
永遠の記憶【仙台正教会】



## 消 息

## 東京正教神学院 ～神学生募集～

東京正教神学院は専任教職者を養成するための教育訓練機関です。現在、神学生を募集しています。2025年度の出願期限は2025年5月31日です。詳しくは管轄司祭まで。

## 神学生募集



### 東京正教神学院

〒101-0062 東京都千代田区神田横町4丁目1-3  
東京正教神学院教務課  
TEL. 03-3291-1885 Email: ocj@ogot.com

# 執事会報告

令和6年11月5日(火)

14時〜15時30分 3階会議室

## 一、報告事項

### ・主教室トイレの不具合

10月末に座下が帰仙された折、トイレの水が流れないという不具合が生じた。11月2日にウツミ工務店に診てもらったが弁の膠着が原因で様子見となった。なおシャワーも水漏れで取替が必要。

### ・一五〇周年記念祭

祝金は特別献金として仕分け、決算前に「修復積立金」とする。記念祭支出はクオカードや食事などで約37万円。

クオカードは現在73枚の余り。今後、もし希望者があれば一枚一五〇〇円の献金をいただいて頒布する。

聖堂入口の二箇所にイコン（サワ鐸木兄の遺品）を設置した。

パネル展は降誕祭頃まで展示する。

スライドショーを行った画像をDVDにして譲って欲しいとの声があったので試作してみる。

## ・会計報告 一般/収益

予算比定額献金54%、臨時献金74%

## 二、協議事項

### 降誕祭について

・ツリー電飾およびクリスマスツリー取り付け12月1日に予定。

・降誕祭祝賀会を12月22日(日)に開催予定。会場作りは当日の朝に行う。プレゼント交換をするか検討したが、今年はず、代わりにビンゴ大会を企画する。景品は教会予算で調達する。

### ・降誕祭前晩祷

12月24日(火) 18時

### ・祈禱後「ふるまい」

・降誕祭聖体礼儀 12月25日(水) 9時

### 三、その他

### ・灯油の件

配達を依頼していた高清燃料店が閉店した為、水口家が会員である「みやぎ生協」に配達の新規申込みをする。

# 献金報告

(6.10.27~6.11.23)

○聖堂内献金 七万五千五百円

○百五十周年祝金

※敬称略

中新田正教会

村井恵子、岡崎たい子、木村良治・浩大、山田喜美雄、山野辺隆二、千葉真貴

本多弘明、笹川皓、服部幸枝、熊谷経光、太田ちえ子、岡多喜子、山本理恵子、永元亜紀子、八文字積子、高橋英俊・秋子、佐藤幾久子、高橋文彦

増子陽子、小原淑子、西海枝康子、大立目謙直、水摩見自〔一般〕

及川聡子、昆守

## ○感謝献金

平塚裕（聖名祭）

岡潔（聖名祭）

高橋ゆり

## ○会報献金

山野辺隆二

## ○降誕祭献金

佐藤明彦

## ○埋葬献金

大場うめ子【大場宏】

## ○改葬献金

本多弘子

## ○パニヒダ献金

平塚裕、山村一作

笹川皓、伊藤光子、岡崎文子

佐藤明彦、高橋文彦、小原淑子



# 12月行事・奉事予定



31日(土) ※徹夜祈はお休み 第6調  
 1日(日) 第24主日代式祈禱(10時30分)

書札 エフエス 2:14・22  
 福音 ルカ 8:41・56

※この日は代式祈禱となります。聖体礼儀は行われませんのでご注意ください。

## クリスマスツリー飾り付け/方舟会総会

30 1日(土) 水口神父白河正教会出張

30 1日(土) 18時 祭日徹夜祈  
 1日(日) 10時 生神女進天堂祭(堂祭) 聖体礼儀

○定例執事会 12月3日(火)(14時)

3日(火) 生神女進天堂祭徹夜祈 (17時)  
 4日(水) 生神女進天堂祭聖体礼儀 (9時)

7日(土) 主日徹夜祈 第7調 (17時)  
 8日(日) 第25主日聖体礼儀 (10時)

書札 エフエス 4:1・6  
 福音 ルカ 10:25・37  
 ■月例パニヒダ/婦人会

8日(日) 中新田正教会・代式祈禱 (10時)

15日(土) 主日徹夜祈 第8調  
 14日(日) 第26主日聖体礼儀(10時)

書札 エフエス 5:9・19  
 福音 ルカ 12:16・21

▼聖名日モレーベン  
 ◇降誕祭前聖堂清掃奉仕

19日(水) 祭日徹夜祈 (17時)  
 18日(木) ミラ・リキヤの奇蹟者聖ニコライ祭 聖体礼儀 (9時)

20 21日(金) 水口神父中新田正教会出張

20 20日(金) 16時 聖歌練習  
 21日(土) 17時 祭日前晩祈・祝賀会  
 10時 降誕祭聖体礼儀

22 21日(土) 主日徹夜祈 第1調 (17時)  
 21日(日) 降誕祭前の主日聖体礼儀 (10時)

書札 エウレイ 11:9・10, 17:23, 32:40  
 福音 マトフェイ 1:1・25  
 ◆クリスマス祝賀会/ミニ講話

25 24日(火) 降誕祭徹夜祈 (18時)  
 24日(水) 降誕祭聖体礼儀 (9時)

書札 ガラテイヤ 4:4・7  
 福音 マトフェイ 2:1・12

29 28日(土) 主日徹夜祈 第2調 (17時)  
 28日(日) 降誕祭後の主日聖体礼儀 (10時)

書札 ガラテイヤ 1:11・19  
 福音 マトフェイ 2:13・23

31日(火) 新年感謝祈禱(深夜0時)

## 12月の予定

- 【方舟会総会】→1(日)
- 【月例パニヒダ】→8(日)
- 【婦人会】→8(日)
- 【聖名日感謝祈】→15(日)
- 【聖堂清掃奉仕】→15(日)
- 【聖歌隊練習】→1(日)、8(日)【発声練習】15(日)
- 【ミニ講話】→22(日)
- 【伝道会 18時~】4(水)、11(水)、25(水)  
(18(水)はお休み)



## Xmas祝賀会のご案内

12月22日(日)祈禱後に信徒会館4階において開催します。例年のプレゼント交換はありませんが、楽しい企画を用意しています。ぜひご参加ください。

## 降誕祭献金

今年も無事、降誕祭を迎えられたことを感謝して、「降誕祭献金」をしましょう。専用の封筒および郵便振替用紙を同封します。どうぞご利用ください。

※ 会報に掲載されました写真でご希望のものがあればプリントいたしますのでご遠慮なくお申し出ください。